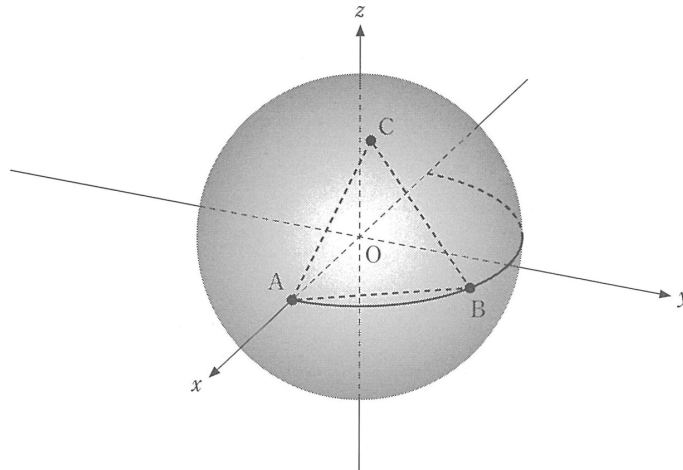


O を原点とする座標空間において、O を中心とする半径1の球面を S とする。 S 上に二つの点 $A(1, 0, 0)$, $B(a, \sqrt{1-a^2}, 0)$ をとる。ただし、 a は $-1 < a < 1$ を満たす実数とする。 S 上の点 C を、 $\triangle ABC$ が正三角形となるようにとれるかどうかを考えてみよう。



参考図

(1) 点 C の座標を (x, y, z) とする。 C が S 上にあるとき

$$|\overrightarrow{OC}|^2 = \boxed{\text{ア}}$$

である。これをベクトル \overrightarrow{OC} の成分を用いて表すと

$$x^2 + y^2 + z^2 = \boxed{\text{ア}} \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

となる。

さらに、 $\triangle ABC$ が正三角形であるとする。 $\triangle OAC$ と $\triangle OAB$ は、対応する三組の辺の長さがそれぞれ等しいから合同である。したがって、対応する角の大きさも等しいから

$$\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OC} = \boxed{\text{イ}}$$

が成り立つ。これをベクトルの成分を用いて表すと

$$x = \boxed{\text{ウ}} \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

となる。同様に $\triangle OBC$ と $\triangle OAB$ も合同であるから

$$\overrightarrow{OB} \cdot \overrightarrow{OC} = \boxed{\text{イ}}$$

が成り立ち、これをベクトルの成分を用いて表すと

$$\boxed{\text{エ}}x + \boxed{\text{オ}}y = \boxed{\text{ウ}} \quad \dots\dots \textcircled{3}$$

となる。

逆に、実数 x, y, z が ①, ②, ③ を満たすとき、 $C(x, y, z)$ は S 上の点であり、 $\triangle ABC$ は正三角形になっていることがわかる。

イ の解答群

① 0	② 1	③ $ \vec{AB} $
④ $ \vec{AB} ^2$	⑤ $\vec{OA} \cdot \vec{OB}$	⑥ $\vec{OA} \cdot \vec{AB}$

ウ ~ オ の解答群 (同じものを繰り返し選んでもよい。)

① a	② $(1+a)$	③ $(1-a)$
④ a^2	⑤ $(1-a^2)$	⑥ $\sqrt{1-a^2}$

(2) a に具体的な値を代入して、 $\triangle ABC$ が正三角形となる S 上の点 C があるかどうかを調べよう。

(i) $a = \frac{3}{5}$ のとき、② と ③ を満たす実数 x, y は

$$x = \frac{\text{カ}}{\text{キ}}, \quad y = \frac{\text{ク}}{\text{ケコ}}$$

である。この x, y に対して、① を満たす実数 z は サ。したがって、 $\triangle ABC$ が正三角形となる S 上の点 C は サ。

(ii) $a = -\frac{3}{5}$ のときも調べよう。(i) と同様に考えると、 $\triangle ABC$ が正三角形となる S 上の点 C は シ ことがわかる。

サ, シ の解答群 (同じものを繰り返し選んでもよい。)

① ない	② ちょうど一つある	③ ちょうど二つある
④ ちょうど三つある	⑤ ちょうど四つある	⑥ 無限に多くある

(3) $\triangle ABC$ が正三角形となる S 上の点 C があるための、 a に関する条件を見つけよう。実数 x, y, z は、①, ②, ③ を満たすとする。② と ③ から

$$x = \text{ウ}, \quad y = \frac{\text{ウ} \left(1 - \frac{\text{エ}}{1+a} \right)}{\text{オ}}$$

である。このとき、① から

$$z^2 = \text{ア} - x^2 - y^2 = -\frac{\text{ス}}{1+a}$$

となる。さらに、 $z^2 \geq 0, 1+a > 0$ であるから ス ≥ 0 である。

逆に、ス ≥ 0 のとき、①, ②, ③ を満たす実数 x, y, z があることがわかる。

以上のことから、セ は、 $\triangle ABC$ が正三角形となる S 上の点 C があるための必要十分条件である。

ス の解答群

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ① $1 - 2a$ | ① $(1 - a)^2$ |
| ② $(1 + 2a)^2$ | ③ $(1 + 2a)(1 - a)$ |
| ④ $(1 - 2a)(1 - a)$ | ⑤ $(1 - 2a^2)(1 + 2a)$ |
| ⑥ $(1 + 2a^2)(1 - a)$ | ⑦ $(1 - 2a^2)(1 - a)$ |

セ の解答群

- | | | |
|---|-----------------------------|--|
| ① $-1 < a < 1$ | ① $-1 < a \leq \frac{1}{2}$ | ② $-\frac{\sqrt{2}}{2} \leq a \leq \frac{\sqrt{2}}{2}$ |
| ③ $-\frac{1}{2} \leq a \leq \frac{1}{2}$ | ④ $-\frac{1}{2} \leq a < 1$ | ⑤ $\frac{1}{2} \leq a < 1$ |
| ⑥ $-1 < a \leq -\frac{1}{2}$ または $\frac{1}{2} \leq a < 1$ | | |
| ⑦ $-1 < a \leq -\frac{\sqrt{2}}{2}$ または $\frac{\sqrt{2}}{2} \leq a < 1$ | | |

(25 共通テスト 本試験 IIBC 6 旧 IIB 7)

【答】

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケコ	サ	シ	ス	セ
1	4	0	0	5	3	5	3	10	2	0	3	4

【解答】

(1) S は O を中心とする半径 1 の球面であり, $C(x, y, z)$ が S 上にあるとき

$$|\vec{OC}|^2 = 1 \quad \dots\dots(\text{答})$$

であるから, これをベクトル \vec{OC} の成分を用いて表すと

$$x^2 + y^2 + z^2 = 1 \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

となる.

さらに, $\triangle ABC$ が正三角形であるとき, $\triangle OAC$, $\triangle OAB$ について

$$\begin{cases} OA \text{ は共通辺} \\ OC = OB = 1 \\ AC = AB \quad (\because \triangle ABC \text{ は正三角形}) \end{cases}$$

が成り立つから

$$\triangle OAC \equiv \triangle OAB$$

である. したがって, 対応する角の大きさも等しいから

$$\vec{OA} \cdot \vec{OC} = \vec{OA} \cdot \vec{OB} \quad \text{イは}\textcircled{4} \quad \dots\dots(\text{答})$$

が成り立つ. これをベクトルの成分を用いて表すと

$$(1, 0, 0) \cdot (x, y, z) = (1, 0, 0) \cdot (a, \sqrt{1-a^2}, 0)$$

$$x + 0 + 0 = a + 0 + 0$$

$$\therefore x = a \quad \dots\dots \textcircled{2} \quad \text{ウは}\textcircled{0} \quad \dots\dots(\text{答})$$

となる. 同様に $\triangle OBC$ と $\triangle OAB$ も合同であるから

$$\overrightarrow{OB} \cdot \overrightarrow{OC} = \overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB}$$

が成り立ち, これをベクトルの成分を用いて表すと

$$\begin{aligned} (a, \sqrt{1-a^2}, 0) \cdot (x, y, z) &= (1, 0, 0) \cdot (a, \sqrt{1-a^2}, 0) \\ ax + \sqrt{1-a^2}y + 0 &= a + 0 + 0 \\ \therefore ax + \sqrt{1-a^2}y &= a \quad \text{エは①, オは⑤} \quad \dots\dots \text{③} \quad \dots\dots \text{(答)} \end{aligned}$$

となる.

逆に, 実数 x, y, z が①, ②, ③を満たすとき, $C(x, y, z)$ は S 上の点 (\because ①) であり,

$$\begin{aligned} AB^2 &= (a-1)^2 + (\sqrt{1-a^2})^2 + 0^2 \\ &= (a^2 - 2a + 1) + (1 - a^2) \\ &= 2 - 2a \\ BC^2 &= (x-a)^2 + (y - \sqrt{1-a^2})^2 + z^2 \\ &= (x^2 - 2ax + a^2) + (y^2 - 2\sqrt{1-a^2}y + 1 - a^2) + z^2 \\ &= x^2 + y^2 + z^2 - 2(ax + \sqrt{1-a^2}y) + 1 \\ &= 2 - 2(ax + \sqrt{1-a^2}y) \quad (\because \text{①}) \\ &= 2 - 2a \quad (\because \text{③}) \\ CA^2 &= (x-1)^2 + y^2 + z^2 \\ &= x^2 + y^2 + z^2 - 2x + 1 \\ &= 2 - 2x \quad (\because \text{①}) \\ &= 1 - 2a \quad (\because \text{②}) \end{aligned}$$

が成り立ち, $AB = BC = CA$ であるから, $\triangle ABC$ は正三角形になっていることがわかる.

(2) (i) $a = \frac{3}{5}$ のとき, ②と③を満たす実数 x, y は

$$x = a = \frac{3}{5} \quad \dots\dots \text{(答)}$$

$$y = \frac{a - ax}{\sqrt{1-a^2}} = \frac{\frac{3}{5} - \frac{3}{5} \times \frac{3}{5}}{\sqrt{1 - \left(\frac{3}{5}\right)^2}} = \frac{\frac{3}{5} - \frac{9}{25}}{\frac{4}{5}} = \frac{15 - 9}{20} = \frac{3}{10} \quad \dots\dots \text{(答)}$$

である. この x, y に対して, ①を満たす実数 z は

$$\begin{aligned} \left(\frac{3}{5}\right)^2 + \left(\frac{3}{10}\right)^2 + z^2 &= 1 \\ z^2 &= 1 - \frac{9}{25} - \frac{9}{100} = \frac{100 - 36 - 9}{100} = \frac{55}{100} \\ \therefore z &= \pm \frac{\sqrt{55}}{10} \end{aligned}$$

として, ちょうど二つある. サは② $\dots\dots \text{(答)}$

したがって, $\triangle ABC$ が正三角形となる S 上の点 C はちょうど二つある.

(ii) $a = -\frac{3}{5}$ のとき, ②と③を満たす実数 x, y は

$$x = a = -\frac{3}{5}$$

$$y = \frac{a - ax}{\sqrt{1 - a^2}} = \frac{-\frac{3}{5} - \left(-\frac{3}{5}\right) \times \left(-\frac{3}{5}\right)}{\sqrt{1 - \left(-\frac{3}{5}\right)^2}} = \frac{-\frac{3}{5} - \frac{9}{25}}{\frac{4}{5}} = \frac{-15 - 9}{20} = -\frac{6}{5}$$

である. $y^2 > 1$ であり, ①を満たす実数 z は存在しない. すなわち, $\triangle ABC$ が正三角形となる S 上の点 C はないことがわかる. シは① ……(答)

(3) $\triangle ABC$ が正三角形となる S 上の点 C があるための, a に関する条件を求める. 実数 x, y, z が ①, ②, ③ を満たすならば,

$$x = a \quad (\because \text{②})$$

$$y = \frac{a(1-a)}{\sqrt{1-a^2}} \quad (\because \text{③})$$

であり, ①から

$$\begin{aligned} z^2 &= 1 - x^2 - y^2 \\ &= 1 - a^2 - \frac{a^2(1-a)^2}{1-a^2} \\ &= \frac{(1-a^2)(1+a) - a^2(1-a)}{1+a} \\ &= \frac{1+a-2a^2}{1+a} \\ &= \frac{(1+2a)(1-a)}{1+a} \quad \text{すは③} \end{aligned} \quad \dots\dots(\text{答})$$

となる. さらに, $z^2 \geq 0, 1+a > 0$ であるから $(1+2a)(1-a) \geq 0$ である.

逆に, $(1+2a)(1-a) \geq 0$, すなわち a が $-\frac{1}{2} \leq a < 1$ ($\because -1 < a < 1$) を満たすならば, ①, ②, ③ を満たす x, y, z は

$$x = a$$

$$y = \frac{a - ax}{\sqrt{1 - a^2}} = \frac{a - a^2}{\sqrt{1 - a^2}} = a\sqrt{\frac{1-a}{1+a}}$$

$$z^2 = 1 - a^2 - a^2 \frac{1-a}{1+a} = \frac{(1-a^2)(1+a) - a^2(1-a)}{1+a} = \frac{(1+2a)(1-a)}{1+a}$$

であり, x は実数, $0 < 1-a \leq \frac{3}{2}$ かつ $\frac{1}{2} \leq 1+a \leq 2$ より, y も実数, $z^2 \geq 0$ であるから, z も実数である. すなわち, ①, ②, ③ を満たす実数 x, y, z があることがわかる.

以上のことから,

$$-\frac{1}{2} \leq a < 1 \quad \text{セは④} \quad \dots\dots(\text{答})$$

は, $\triangle ABC$ が正三角形となる S 上の点 C があるための必要十分条件である.